

科目番号		52028	分類	実践助産学	履修者	高度実践助産コース			学年	
科目名	地域助産学実習 (Practicum for Midwifery in the Community)								1-2	
									配当セスター	
									通年	
担当者	○朝澤 恭子 他 4 名			区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	6	時間数	270
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
【概 要】 助産所において実践されている助産ケアを学ぶ。また、助産所の経営管理の実際をとおし、開業権を生かしたこれからの助産師の働き方について考察する。さらに助産所・保健所と連携する行政施設、医療施設、民間団体、自助グループ等の活動を知り、母子および家族を支援する地域母子保健システムを総合的に理解する。 【目 標】 1. 助産所における妊産褥婦・新生児に対する生理的なプロセスの維持・促進・逸脱予防の助産ケアについて、その根拠を説明し、一部を実施できる。 2. 助産所で実施されている健康教育クラスの特徴を理解し、運営に参加できる。 3. 助産業務の安全性（判断基準と救急支援システム）を理解し、効果的な医療連携システムについて説明できる。 4. 助産所と連携する各施設・団体の活動の実際を説明できる。 5. 保健所における母子保健事業・地域医療連携の実際を理解し、助産師の役割を説明できる。							○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
							○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
							○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
							○	4.周産期の救急時に対応できる能力		
							○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
								6.研究・開発能力		
							○	7.倫理的意思決定能力		
【内 容】 1. 実習時期 助産所実習 2027 年 3 月～4 月 保健所実習 2027 年 5 月 4. 実習場所 助産所： 稲田助産院、さくらバース、とわ助産院、みやした助産院、森重助産院、矢島助産院 保健所： 23 区内の保健所・保健センター 5. 実習内容 ・妊婦健康診査、保健指導 ・分娩介助 ・産褥期・新生児期の助産ケア ・継続事例の受け持ち ・地域助産活動への参加 ・保健事業の見学および参加 (詳細は実習要項参照)										
事前・事後学習	事前学習：前期に開講された授業内容を復習しておくこと。 事後学習：自己学習ノートを作成し、実習における学び、残された自己の課題を明確にし、まとめること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。									
評価の方法	実習目標の達成度による評価を行う。助産所実習 75%、保健所実習 25% (内、実習記録 40%、実習状況 40%、レポート 20%、)									
参考図書・資料等	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期診断技術学および地域助産活動論で用いた参考図書									
備考	事前学習 1. 各助産所のホームページから、実習施設の理念、具体的活動を理解しておく。 2. 自己の目標と課題について考えて実習に臨むこと。 オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。									